



定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

4月の低温により、一部園地で芽枯れが散見されます。
被害がある園地は、樹全体で着果量を確保するように作業を進めて下さい。
病害虫の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。

第3回 定期散布

病害虫防除

◎6月上旬の薬剤散布

●収穫前や収穫中の作物に飛散しないよう、十分注意する。

散布薬剤	水	100ℓあたり	散布日 6月 日 散布量 ℓ
	展着剤	10mℓ	
	キノドー顆粒水和剤	100g	14日前、5回以内
	サイアノックス水和剤	100g	45日前、3回以内
対象病害虫	落葉病、炭疽病、うどんこ病 フジコナカイガラムシ、カキノヘタムシガ、カメムシ類		
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。		
注意事項	① サイアノックス水和剤に替えてスミチオン水和剤 40 の 800 倍（30日、3回）でも良い。 ② スミチオン水和剤 40 の使用回数はガットサイド S と合わせて 3 回までです。カキノキマダラメイガ・ヒメコスカシバ対策で散布した場合はご注意下さい。 ③ 他品目に飛散しないように注意して下さい。 ④ 弱樹勢樹（葉が小さい・色が薄い等）が見られる場合は担当技術員までご相談下さい。		

裏面もご覧下さい。

第4回 定期散布

◎6月中下旬の薬剤散布

●収穫前や収穫中の作物に飛散しないよう、十分注意する。

散布薬剤	水	100 ㍓あたり	散布日	6月	日
	展着剤	10mℓ	散布量		ℓ
	モスピラン顆粒水溶剤	25g	前日、3回以内		
	オーソサイド水和剤 80	100g	7日前、5回以内		
対象病害虫	落葉病、炭疽病、すす点病 アザミウマ類、カイガラムシ類、カキノハタムシガ、カメムシ類				
散布量	10a当り 500ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。				
注意事項	<p>① <u>前年、落葉病が多発した園地は、今回の防除を必ず実施して下さい。</u></p> <p>② オーソサイド水和剤 80 に代えて、スコア顆粒水和剤 3000 倍(前日、3回)でも良い。</p>				

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう

次回配布予定：6/17

内 容 ：7月散布